



NO. 200-008

NO. 200-008

DATE 9-19-1977

(SUPERSEDES NO. )

REV.

DATE

(SUPERSEDES NO. )

REASON

1. 標 題 : 風防レール・ロック孔摩耗補修要領
2. 適用機体 : FA-200全機
3. 適用度 : 任意事項
4. 目 的 : 風防ロック孔が摩耗し、穴径が過大になった場合の標準修理方法について定める。

5. 指 示 : 風防レールの補修及び風防ロック・ピンの交換

6. 実施時期 : 任意
7. 承 認 : 航空局承認対象外
8. 所要部品 : 必要部品表に依る
9. 特殊工具 : な し
10. 重量重心 : 不 変
11. 準拠資料 : な し
12. 作業手順 :

12-1 風防レールの補修

- (1) サービス・マニュアル項目7-4-1に依り可動風防を取外す。
- (2) 風防レール・ロック孔(左右各5ヶ)を図-1に依り $\cdot 254 \text{ IN } \phi$ に  
 $\cdot 250$ に  
サイズアップする。
- (3) 上記に於いてサイズアップしたロック孔が正円にならない場合は  
 $\cdot 316 \text{ IN } \phi$   
 $\cdot 312$ を限度として更にサイズアップする。

## AIRCRAFT DIVISION

680 NISHIHARACHO UTSUNOMIYA TOCHIGI JAPAN 〒320  
TEL 0286 (58) 1111 TELEX 720 3522 176

TECHNICAL BULLETIN 200-008

PAGE 1 OF 3

風防ロック・ピンの交換

- (1) 可動風防前方フレームカバー (200-534105-007 & -008) を取外す。
- (2) 図-2 に於いてロック・ピンを次の手順にて取外す。
  - (イ) スプリングを縮めコッターピンを取外す。
  - (ロ) ターンバックルのからげ線を切取り、ターンバックルよりロック・ピンを取外す。(ロック・ピンはボックス下方に引抜く)
  - (ハ) 風防レールの補修に於いて  $\cdot 254 \text{ IN} \phi$  にサイズアップした場合は 200-420112-005 ロック・ピンをボックスにスプリング、ワッシャーを通し、下方より挿入する。  $\cdot 316 \text{ IN} \phi$  にサイズアップした場合はボックスの穴径も同様にサイズアップし、200-420112-007 ロック・ピンを取付ける。
  - (ニ) ターンバックルで、ロック・ピン及びケーブル組立を接続する。
  - (ホ) コッターピンを実施する。
- (3) サービス・マニュアル項目 7-4-1 に依り可動風防を取付ける。
- (4) 可動風防ロック・ピンが完全に風防レール・ロック孔に入る様、ターンバックルにて調整する。
- (5) ターンバックルにからげ線を実施する。
- (6) 可動風防前方フレームカバーを取付ける。

必要部品表

| 部品番号           | 部品名称        | 1機当個数 | 備考  |
|----------------|-------------|-------|---|
| 200-420112-005 | PIN         | 2     | $\cdot 254 \text{ IN} \phi$ 穴用<br>$\cdot 250$ |
| 200-420112-007 | PIN         | 2     | $\cdot 316 \text{ IN} \phi$ 穴用<br>$\cdot 312$ |
| MS24665-132    | COTTER PIN  | 2     |   |
| MS20995C       | SAFETY WIRE | AR    |   |

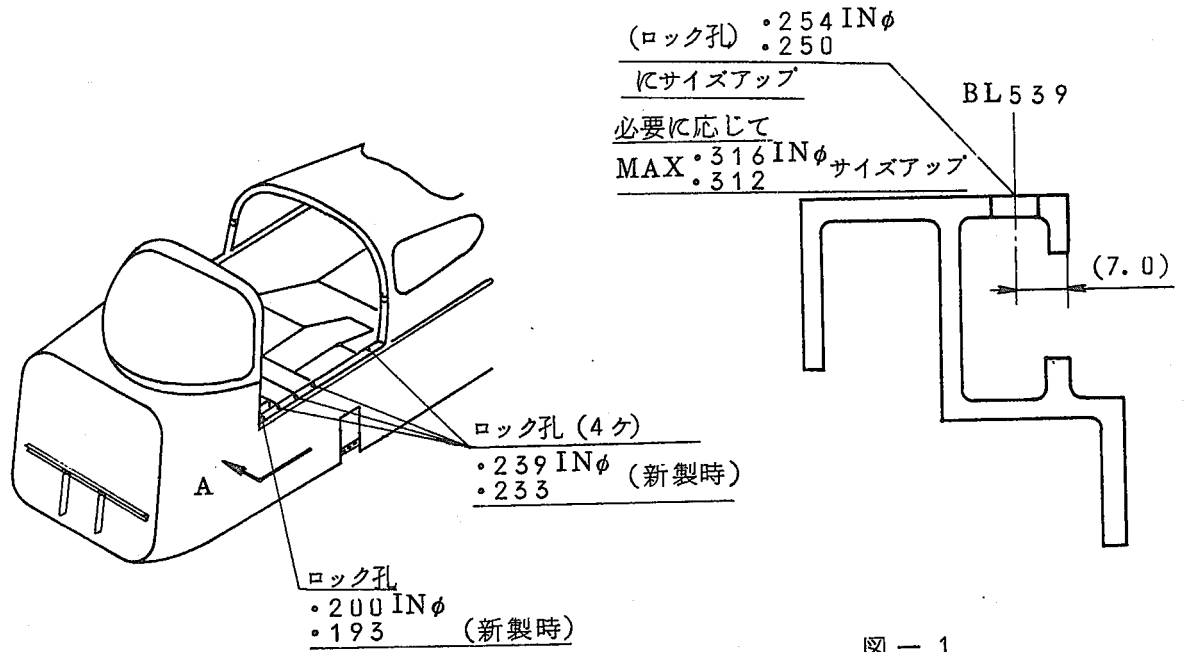


図 - 1

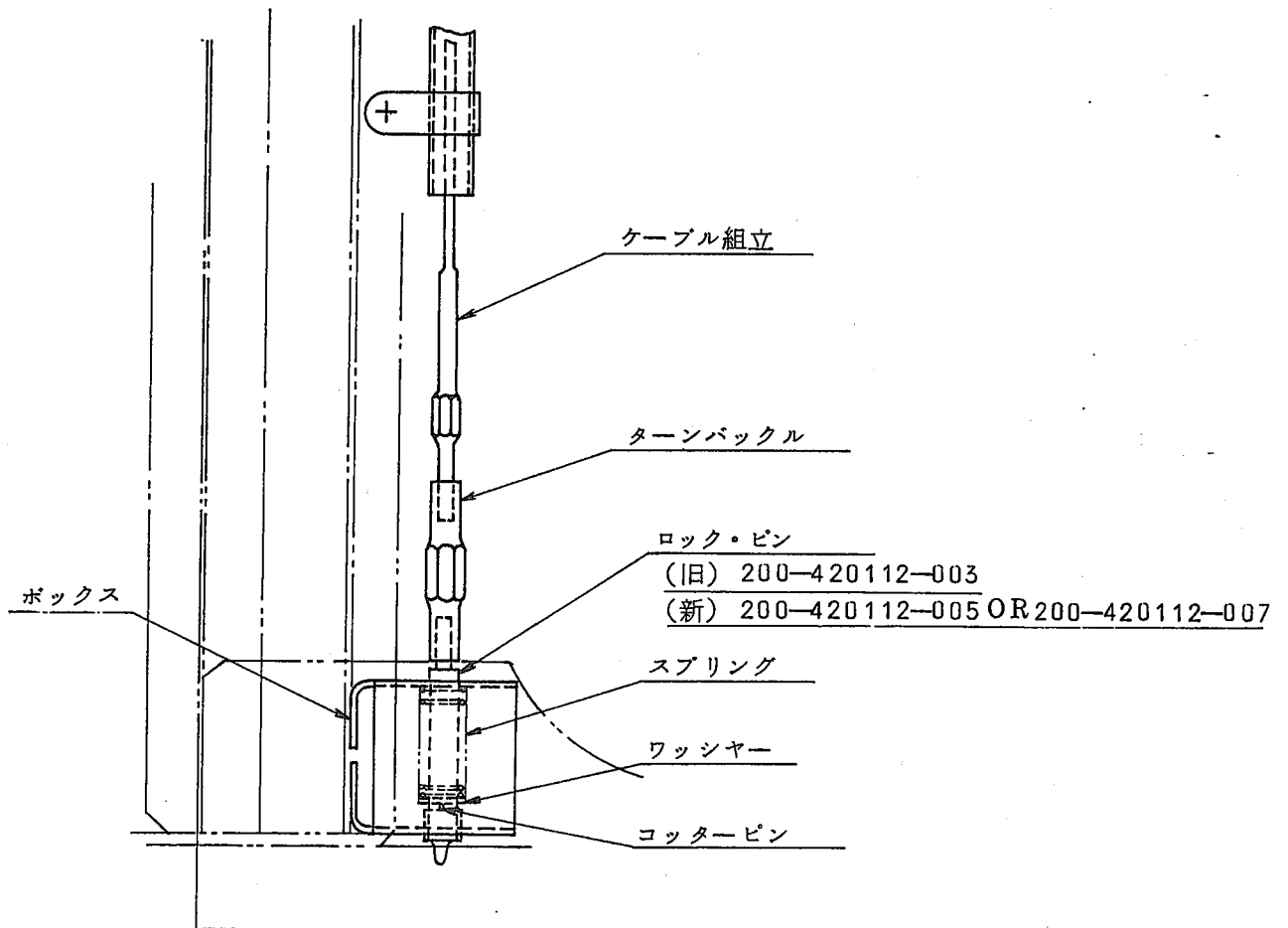


図 - 2 矢視 A